

- Ann. Sci. Nat. Bot. Sér. 2, Paris: 353.
- 10) HOLLENBERG, G. J. (1943) New marine algae from Southern California, II. Amer. J. Bot., 30: 571-579.
- 11) GARDNER, N. L. (1926) New Rhodophyceae from the Pacific Coast of North America, I. Univ. Calif. Publ. Bot., 13: 205-226.
- 12) YAMADA, I. (1971) Observations on *Sorella repens* (OKAM.) HOLLENBERG (Rhodophyta) in Japan, especially on the development of the reproductive organs. Phycologia 10: 189-198.
- 13) KYLIN, H. (1933) On three species of Delesseriaceae from New Zealand. Trans. New Zeal. Inst., 63: 109-111.
- 14) YAMADA, Y. (1935) Notes on some Japanese algae. VI. Sci. Pap. Inst. Alg. Res., Hokkaido Imp. Univ. 1: 29.
- 15) 三上日出夫 (1970) ハイウスパノリの体構造と生殖器官について. 藻類, 18: 60-66.

第9回国際海藻学会議について

明年8月20日～27日ごろ、アメリカ西海岸のカリフォルニア大学サンタバーバラキャンパスで第9回国際海藻学会議が行われます。この会議は、国際藻類学会、アメリカ藻類学会などと、ジョイントシンポジウムの形で行われます。「海藻」とはなっていますが、淡水でも陸産でも、とにかく藻類を扱う研究はすべてシンポジウムの対象となりますから、ふるって参加されるよう、アメリカ藻類学会会長からも希望が寄せられています。ブレ、およびポストシンポジウムも計画され、エクスカージョンも予定されています。日本語同時通訳も考慮されています。参加費50ドル、宿泊は食事を含め16ドル前後と格安となっています。第1回のサーキュラーは6月に出され、そこで第2回サーキュラー希望者のリストアップがなされています。もし第1回サーキュラーを受取っていないで、参加希望者がありましたら、日本藻類学会事務局に申込んで下さい。

なお渡航については、団体扱いができるよう交渉中です。

(日本藻類学会事務局)